

手話施策推進事業実施状況

施策1 手話の普及と理解の促進				
PR 活動	◎広報にしわき			
	手話啓発記事 掲載			
	目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年3月号広報にしわき（全戸配布）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆特集：手話でつながる</li> </ul> </li> <li>●隣保館だより（市内4館：毎月発行）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「わんポイント手話」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市役所ロビーでの手話体験コーナーの開催日時掲載</li> <li>●隣保館だより（市内4館：毎月発行）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「わんポイント手話」</li> </ul> </li> <li>●西脇市人権教育啓発資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ゆきちゃんからのメッセージ」 (全戸配布)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市役所ロビー（7月よりみらいえ）での手話体験コーナー開催日時掲載</li> <li>●隣保館だより（市内4館：毎月発行）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「わんポイント手話」</li> </ul> </li> <li>●西脇市人権教育啓発資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「ゆきちゃんからのメッセージ」 (全戸配布)</li> </ul> </li> </ul>	全戸配布の広報等に掲載することで、市民が手話を目にする機会を提供できている。  <p style="text-align: center;"><b>【継続実施】</b></p>
	◎市ホームページ			
啓発ページ動画作成発信				
目 標	手話動画を youtubeで見て真似たり、身近に感じてもらう			
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●手話施策事業の掲載                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆手話体験コーナー</li> <li>◆地域・事業者向け手話講座等のお知らせ</li> </ul> </li> <li>●「西脇手話チャンネル（動画配信）」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆第1回西脇市手話動画『あいさつ編』配信 視聴回数 691回</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手話施策事業の掲載                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆手話体験コーナー</li> <li>◆地域・事業者向け手話講座等のお知らせ</li> </ul> </li> <li>●「西脇手話チャンネル（動画配信）」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆第2回西脇市手話動画『接待編』配信 視聴回数 183回</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手話施策事業の掲載                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆手話体験コーナー</li> <li>◆地域・事業者向け手話講座等のお知らせ</li> </ul> </li> <li>●手話動画の配信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◆手話体験コーナーPR動画配信 (You tube西脇市公式チャンネルにて配信) 視聴回数 202回</li> </ul> </li> </ul>	気軽に手話にふれる手段として今後も掲載を継続する。 視聴回数が伸び悩んでいるため、視聴回数を増やす方法を検討する。  <p style="text-align: center;"><b>【継続実施】</b></p>	

P R 活動	◎情報発信			
	西脇高校とのコラボ企画			
	目 標	若い世代への関心を広げる		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●西脇高校生による動画内容の編集、作成 手話動画『あいさつ編』作成	●西脇高校生による動画内容の提案、出演 手話動画『接待編』作成	●西脇高校生による動画内容の提案、出演 手話体験コーナーのPR動画作成 西脇高校生の提案を基に、西脇市聴協・手話サークルわかばの協力を得て作成。 撮影・編集は市次世代創生課（映像専門員）が担当。	生徒が手話に深く関心を持つきっかけとなっている。  <b>【継続実施】</b>
	手話体験コーナー			
	目 標	1人でも多くの人に手話を体験してみようと思ってもらおう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●毎月第1・3水曜日 午前10時から2時間 市役所ロビーにて	●毎月第1・3水曜日 午前10時から2時間 市役所ロビーにて  22回実施・延来場者数 75名（6月～3月）	●4月～6月 第1・3水曜日 午前10時から2時間 市役所ロビーにて  ●7月～ 第1・3木曜日 午前10時から2時間 みらいえロビーにて  18回実施・延来場者数 68名（1月まで）	来場者数は低調だが、気軽に手話を体験できる場として定着している。 実施場所や時間について検討が必要。  <b>【継続実施】</b>

PR 活動	啓発資料作成・配布			
	目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●手話言語条例パンフレットを作成し、平成30年西脇市成人式において新成人に配布 ●手話啓発クリアファイル作成（3,000枚）	●手話言語条例パンフレットを、平成31年西脇市成人式において新成人に配布 ●手話啓発クリアファイルを市内の全小中学校に配布 ●「ポケ手話」の作成・配布（市職員向け掲示板に掲載）	●手話言語条例パンフレットを、令和2年西脇市成人式において新成人に配布 ●手話言語条例パンフレットを、市民向け手話講座にて配布（約250部） ●ポケ手話シールの作成（2,000枚）	市民が手話を目にする機会を提供できている。 作成した資料を、手話講座等で活用する方法を検討する。  <b>【継続実施】</b>
	◎図書館			
	手話図書コーナー設置			
	目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●図書館入り口に特設展示コーナーを設置 ◆手話に関する書籍（約50冊）を紹介	●図書館入り口：特設展示コーナーを設置 ◆手話に関する書籍（約50冊）を紹介	●図書館入り口：特設展示コーナーを設置 ◆手話に関する書籍（約50冊）を紹介	市民が手話にふれる機会を提供できている。  <b>【継続実施】</b>
	手話によるお話し会			
目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう			
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
		●手話による読み聞かせ（8/17実施） ろう者2名が手話で絵本を読みきかせ（図書館事業の一環として実施）	子どもが手話や聴覚障害者と関わる機会を提供できた。 図書館職員が手話や聴覚障害者について知る機会となった。  <b>【継続実施】</b>	

PR 活動	手話関連図書購入促進			
	目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●図書館に依頼し、6冊購入 ◆現在の蔵書数 108冊	●図書館に依頼し、11冊購入 ◆現在の蔵書数：119冊	●図書館に依頼し、6冊購入 ◆現在の蔵書数：125冊	市民が手話にふれる機会を提供できている。  【継続実施】
	◎手話啓発掲示			
	市本庁舎の手話啓発掲示			
	目 標	1人でも多くの人に手話に対する関心や親しみを持ってもらう		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●手話イラストの掲示 ◆市役所本庁舎の階段、小・中学校等	●手話イラストの掲示 ◆市役所本庁舎の階段、小・中学校等	市民が手話にふれる機会を提供できている。  【継続実施】
	講座 研修	◎手話講座		
◆市職員等対象				
朝の手話ワンポイントレッスン				
目 標		手話を使った挨拶や簡単な会話ができる市職員を増やし、市民サービスの向上を図る。 職場リーダーを育てる。		
平成29年度		平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
●設置通訳者が各課を1週間ごとに巡回し、朝礼時に、主に窓口業務担当課で実施		●設置通訳者が各課を1週間ごとに巡回し、朝礼時に、主に窓口業務担当課で実施	●福祉部で朝礼時に実施 (窓口対応で使える手話を学習)	福祉部職員は、あいさつや簡単な会話ができる程度の手話を習得できた。 他部門での実施方法は手話リーダーの養成も含め検討が必要。  【継続実施】

講座 研修	職員全員を対象とした手話講座				
	目 標	手話を使った挨拶や簡単な会話ができる市職員を増やし、市民サービスの向上を図る。			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●手話研修の実施 ◆4月、参加者 10人（新任職員） ◆6～7月、参加者 245人	●手話研修の実施 ◆4月、参加者 10人（新任職員） ◆6～7月、参加者 245人 ◆12月、参加者 35人	●手話研修の実施 ◆4月、参加者 13人（新任職員）	手話の習得や聴覚障害の理解が十分に深まっているとは言えない。職場リーダーを中心に、日常的に手話にふれる体制づくりを検討する。新任職員研修は継続。  【再検討】
	自主活動の立ち上げ				
	目 標	職場リーダーを育てる。 地域のろう者との交流や仕事に活用する。			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●市職員手話サークル ◆活動日：第1・3水曜日 正午～30分 （市役所1階ロビー）、第3水曜日 午後6時～30分（マナビータ1階サロン）	●市職員手話サークル ◆活動日：第1・3水曜日 正午～30分 （市役所1階ロビー）、第3水曜日 午後6時～30分（マナビータ1階サロン）	●市職員手話サークル ◆活動日：第1・3水曜日 午後6時～30分（マナビータ1階サロン）	自主活動として、職員有志により活動を継続
	手話検定				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●手話検定4級を団体受験（2/9） ◆合格者数 13名	●手話検定3級を団体受験（2/29） ◆受験予定者数 13名	手話検定の受験が目標の達成に結び付いているか、再度評価が必要。  【再検討】	

講座 研修	◆消防署員対象			
	手話研修			
	目 標	手話を使った挨拶や簡単な会話ができる市職員を増やし、市民サービスの向上を図る。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●調整会議 10/13開催 ◆緊急時の連絡、災害時における 情報発信、支援方法を確認	●職員手話研修を実施（1/15・18開催） ◆受講者 42名	未実施	継続して開催できるよう消 防署と調整が必要  【再検討】
	◆警察署員対象			
	手話研修			
	目 標	手話を使った挨拶や簡単な会話ができる市職員を増やし、市民サービスの向上を図る。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●職員手話研修を実施（11/27・28、1/31） ◆受講者 71名	未実施	継続して開催できるよう警 察署と調整が必要  【再検討】

講座 研修	◆地域・自治会対象				
	手話講座				
	目 標	1人でも多くの人に手話を体験してみようと思ってもらおう			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
	●区長会を通じ、地域での手話講座開催の案内を配付 ◆実施数：8団体 100名	●区長会を通じ、地域での手話講座開催の案内を配付 ◆実施数：15団体 351名	●区長会を通じ、地域での手話講座開催の案内を配付 ◆実施数：2団体 36名	受講者からは、手話や聴覚障害者に対する理解が深まった、手話の本を置いて勉強を続けている、業務に活かしている等の感想が聞かれた。 また、繰り返し受講した人からは、手話に親しみを感じている様子うかがえた。	
	◆企業・事業所等対象				
	手話講座				
	目 標	1人でも多くの人に手話を体験してみようと思ってもらおう			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況		
	●商工会議所を通じ、企業向け手話講座の案内を配布 ◆実施数：4事業所 153名	●商工会議所を通じ、企業向け手話講座の案内を配布 ◆実施数：12事業所 206名	●商工会議所を通じ、企業向け手話講座の案内を配布 ◆実施数：3事業所 95名 (予定含む)		
	◆高齢者大学対象				
	手話講座				
	目 標	1人でも多くの人に手話を体験してみようと思ってもらおう			
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況			
●高齢者大学 手話ミニ講座 (10/3・12・13) ◆受講者数：延べ150名	●高齢者大学 手話ミニ講座 (7/3・12・13・21、12/4・13) ◆受講者数：延べ397名	●高齢者大学 手話ミニ講座 (12/3・12・20) ◆受講者数：延べ168名			
【継続実施】					

講座 研修	◆こども対象			
	小中高での手話講座			
	目 標	手話であいさつができるまでに		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●福祉学習として実施 ◆小学校 8校 4年生 344人 ◆中学校 1校 2年生 37人 ◆西脇高校 3年生 14人	●福祉学習として実施 ◆小学校 7校 4年生 354人 ◆西脇高校 3年生 15人 ●手話講座として実施 ◆小学校 4校 218名 ◆中学校 1校 48名	●福祉学習として実施 ◆福祉学習として実施 ◆小学校 8校 4年生334人 ◆中学校 1校 1年生26人 ◆西脇高校 3年生 12人	市内の全児童が授業に参加しており、手話や聴覚障害者を身近に感じる機会となっている。 高校では、手話動画の提案など、より深く学ぶ機会となっている。 <b>【継続実施】</b>
	聴覚障害児と保護者向けの手話講座			
	目 標	聴覚障害児の交流や保護者の情報交換の機会を設ける。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●広域で実施されている、聞こえない、聞こえにくい子どもたちと保護者の交流会「みんなあつまれ！」を紹介	●広域で実施されている、聞こえない、聞こえにくい子どもたちと保護者の交流会「みんなあつまれ！」を紹介	紹介にとどまっているため、健康課等と連携し、早期から社会福祉課が関わる体制作りが必要。 <b>【再検討】</b>
	夏休みこども手話講座			
目 標	ろう者と交流することで手話に対する理解を深める。			
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
●小学生を対象に実施（8/22・23） ◆参加者 28名	●小学生を対象に実施（8/18・19） ◆参加者 34名	●ジュニアじんけん教室の一環として小学生を対象に実施（7/28・8/24） ◆参加者 23名（保護者等含む）	人権や手話に関心のある児童が自発的に参加しており、2回連続の講座で学びを深めることができた。 事業担当の人権教育課職員の理解を深めることもできた。 <b>【継続実施】</b>	



講座 研修	◆難聴者・中途失聴者対象			
	手話講座			
	目 標	障害のある人となない人とのコミュニケーションの拡大を図る。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
		●「聞こえ」の啓発講座を実施（9/23、10/7） ◆受講人数 11人	●いきいきふれあいサロンにおいて「聞こえ」の啓発講座を実施（1/16） ◆参加者数 12人 （60～80代の高齢者）	当事者や当事者の家族の参加がほとんどないため、要約筆記サークルの協力も得ながら、難聴者が集まれる方法を検討する。  【再検討】
交流	◎交流の場作り			
	◆地域住民と聴覚障害者・児のふれあい			
	目 標	障害や障害のある人への理解を深め、互いに認め合い相互理解を深める。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●田植えやさつまいもの苗植え体験 ◆人権教育課主催の「にしわきジュニアじんけん教室」に参加	●田植えやさつまいもの苗植え体験 ◆人権教育課主催の「にしわきジュニアじんけん教室」に参加 ●「手話カフェ」「講演会」開催事業補助 ◆西脇市聴覚障害者協会主催	●田植えやさつまいもの苗植え体験 ◆人権教育課主催の「にしわきジュニアじんけん教室」に参加 ●「手話カフェ」開催の支援 （郵便局と聴協、手話サークルが主催）	交流を通じて互いの理解を深める場を提供できた。  【継続実施】
	◆聴覚障害者と聴覚障害児のふれあい			
	目 標	聴覚障害者・児との交流やふれあいの機会を増やす。		
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
	●聴覚障害者協会が開催する行事等を紹介	●聴覚障害者協会が開催する行事等を紹介	紹介にとどまっているため、健康課等と連携し、早期から社会福祉課が関わる体制作りが必要。  【再検討】	

<b>施策2 手話による情報取得及び手話を使いやすい環境づくり</b>				
通訳	◎手話通訳者の配置（福祉事務所内）			
	目 標	行政情報の提供や市民が参加できる会議等において、いつでも手話で意思疎通ができるように努め		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●平成27年度～：福祉事務所内に1名配置	●平成27年度～：福祉事務所内に1名配置	◆設置通訳者の退職により募集中 (現在は手話通訳のできる職員が兼任)	<b>【継続実施】</b>
	◎手話通訳者派遣			
	目 標	行政情報の提供や市民が参加できる会議等において、いつでも手話で意思疎通ができるように努め		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●利用実績 ◆利用者 27人、派遣件数 152件	●利用実績 ◆利用者：33名、派遣件数 134件	●利用実績（4～1月） ◆利用者：26名、派遣件数 95件	<b>【継続実施】</b>
	◎ICT（情報通信技術）の導入			
	目 標	行政情報の提供や市民が参加できる会議等において、いつでも手話で意思疎通ができるように努め		
平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価	
●導入について検討	●先進事例等の情報収集 ◆三木市の実施状況を調査	●先進事例等の情報収集	導入方法について、新庁舎建設に合わせ、適切な方法を検討する。  <b>【再検討】</b>	

情報	◎暮らしの中で必要な事の情報提供（広報関係）			
	目 標	聴覚障害者の福祉向上、社会参加、生活支援に努める。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市主催のイベント等には、手話通訳者・要約筆記者の派遣を依頼すること、また配慮事項やファックス番号などを明示するよう周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市主催のイベント等には、手話通訳者・要約筆記者の派遣を依頼すること、また配慮事項やファックス番号などを明示するよう周知</li> <li>●通報用ファックス用紙（北はりま消防本部用及び警察署用）を聴覚障害の手帳所持者全員に送付</li> <li>●西脇市福祉タクシー券を使用できるタクシー会社のうち、ファックスによる予約が可能な事業者の一覧を作成、タクシー券利用者に送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市主催のイベント等には、手話通訳者・要約筆記者の派遣を依頼すること、また配慮事項やファックス番号などを明示するよう周知</li> <li>●西脇市福祉タクシー券を使用できるタクシー会社のうち、ファックスによる予約が可能な事業者の一覧を作成、タクシー券利用者に送付</li> <li>●簡易筆談器を各避難所施設等に配置（17個）</li> </ul>	<p>担当課により意識の差があるため、引き続き啓発に努める。</p> <p style="text-align: right;"><b>【継続実施】</b></p>

施策3 手話通訳者の配置、派遣等意思疎通支援の充実							
養成 研修	◎手話奉仕員養成講座の開催						
	目 標	手話通訳者の役割と専門性を十分に認識し、手話通訳者の養成に継続的に取り組み、手話通訳者を確保する。					
		平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価		
	●入門課程	【実施主体】社協 (9/28～3/1) 全20回 ◆受講者数：24名	●入門課程	【実施主体】社協 (9/12～2/6) 全20回 ◆受講者数：5名	●入門課程	【実施主体】社協 (10/3～2/27) 全20回 ◆受講者数：9名(終了見込者 6名)	入門課程の翌年に基礎課程を受講する流れができており、継続して手話を学ぶ場を提供できている。手話通訳者養成講座を受講できる力をつけるための講座について検討が必要。 <b>【継続実施】</b>
	●基礎課程	【実施主体】西脇市 (5/10～9/27) 全20回 ◆受講者数：17名(修了者 10名)	●基礎課程	【実施主体】西脇市 (5/10～9/27) 全20回 ◆受講者数：14名(修了者 8名)	●基礎課程	【実施主体】西脇市 (5/15～10/2) 全20回 ◆受講者数：9名(修了者 6名)	
	◎手話通訳者養成講座の開催						
	目 標	手話通訳者の役割と専門性を十分に認識し、手話通訳者の養成に継続的に取り組み、手話通訳者を確保する。					
		平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価		
	●ステップアップ講座	【実施主体】西脇市、加東市、多可町 (11/2～3/1) 全5回 ◆受講者数：20名(修了者 17名)	●「通訳Ⅰ」実施 【実施主体】北播磨意思疎通支援協会 (5/10～2/7) 全36回 ◆受講者数：21名(西脇市0名)	●「通訳Ⅰ」実施 【実施主体】北播磨意思疎通支援協会 (5/9～2/13) 全36回 ◆受講者数：22名(西脇市3名)	北播磨5市1町が共同で実施することにより、効率的かつ継続的な養成が可能となっている。  <b>【継続実施】</b>		
			●試験対策講座実施 【実施主体】西脇市 (11/20・27) 全2回 ◆受講者数：2名	●「通訳Ⅱ」実施 【実施主体】北播磨意思疎通支援協会 (5/9～1/23) 全34回 ◆受講者数：16名(西脇市0名)			
			●試験対策講座実施 【実施主体】西脇市 (11/1・20) 全2回 ◆受講者数：5名				

養成 研修	◎登録手話通訳者現任研修の開催			
	目 標	手話通訳者の役割と専門性を十分に認識し、手話通訳者の養成に継続的に取り組み、手話通訳者を確保する。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●【実施主体】西脇市、加東市、多可町 (6/13～2/20) 全4回 ◆受講者数：10名	●【実施主体】西脇市 (7/20～2/15) 全5回 ◆受講者数：7名	●【実施主体】西脇市 (8/23～3/6) 全4回 ◆受講者数：6名	定期的に研修会を実施することにより、手話通訳者の技術や意識の向上につながっている。  【継続実施】
緊急 時支 援	◎緊急時の連絡、派遣体制の構築			
	◎災害時における情報発信、支援方法			
	目 標	聴覚障害者の福祉向上、社会参加、生活支援に努める。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
●緊急FAX通報説明会及び心肺蘇生法講習会 (11/9)	●聴覚障害者からの緊急ファックス通報説明会及び心肺蘇生法講習会 (1/26)	未実施	新たな通信手段の検討が行われているため、説明会や訓練の機会を提供する必要がある。  【継続実施】	
施策4 手話施策推進会議による実施状況の点検				
点検	◎定期的な手話施策推進会議の開催			
	目 標	意見を聴き手話に関する施策を推進する。		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度進捗状況	評価
	●年2回開催 (6/26、12/4)	●年2回開催 (5/30、10/22)	●年2回開催 (6/11、2/5)	市の施策等について意見を聞く貴重な機会となっている。 開催時期や時間について検討が必要。  【継続実施】